



2017年、東京国際フォーラムは開館20周年を迎えました。

東京国際フォーラムは、1997年1月10日、東京で初めての「コンベンション&アートセンター」として、東京・丸の内の旧都庁舎跡地に開館しました。開館以来、国際会議、式典、学会、展示会、コンサート、ミュージカル、ファッションショーなど、幅広いジャンルのイベントが開催され、様々な人々が集い、交流し、多様性に満ちた文化と情報を発信しています。これもひとえに、都民の皆様をはじめ、ご利用・ご来館のお客様、関係者の皆様など、多くの皆様の暖かいご支援やご鞭撻、ご愛顧の賜物と心より感謝いたしております。そこで、これまでの感謝の気持ちを表すとともに、次の時代に進む東京国際フォーラムの姿をご覧いただくため、2017年の20周年アニバーサリーイヤーに、記念イベントなどの特別企画を実施しました。

皆様と歩み続ける東京国際フォーラムに、これからどうぞご期待下さい。

20周年記念事業のご案内

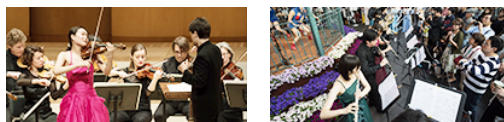
1月



J-CULTURE FEST にっぽん・和心・初詣 2017年1月1日(日)・2日(月)・3日(火)

東京国際フォーラムは、2017年1月に開館20周年を迎えました。そのオープニングイベントとして、日本文化の多彩な魅力を楽しむ"感謝のフェスト"を開催し、期間中は約8万人の皆様にご来場いただきました。

5月



ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン2017 2017年5月4日(木・祝)～6日(土)

本年で13回目となる、日本最大級のクラシック音楽祭。3日間で延べ約42万2千人のお客様にご来場いただき、盛況のうちに幕を閉じました。

6月



開館20周年記念館内装飾

開館20周年記念ロゴ等を地上広場の支柱や店舗のガラス面に装飾し、20周年を祝いました。併せて館内店舗では、20周年記念店舗キャンペーンを実施。



書道家 金澤翔子氏による作品「飛翔」

20周年を記念し、未来に向かい飛躍する決意を書道家 金澤翔子氏に揮毫いただきました。

8月



フラワーモニュメント

東京都で生産される色とりどりの花々約1,000鉢で装飾したモニュメントが開館20周年のプロローグを飾りました。

場所：ガラス棟地下1階ロビーギャラリー

期間：2017年1月17日（火）～22日（日）

展示最終日に装飾した花苗を無料で配布。

3-4月



開館20周年記念フラワーガーデン

毎年、卒業・入学シーズンを季節の花で彩る「春のフラワーガーデン」。本年は開館20周年の感謝を込めて、地上広場全体を花で飾りました。

場所：地上広場

期間：3月13日（月）～4月14日（金）

4-11月



ネオ屋台村スーパーナイト

4月～11月の毎月一回、地上広場がビアガーデンに変身する「ネオ屋台村スーパーナイト」。2017年はステージテントに20周年記念ロゴを表示。7月には、浴衣で楽しむ夏祭りをイメージし盆踊りやよさこいなど一緒に踊れるステージを用意した「Yukata de Night(ゆかたでないと)」を2日間開催し、多くのお客様に参加いただきました。



丸の内キッズジャンボリー2017

夏休みに子どもたちへ未来の夢をはぐくむ“驚き・感動・発見”をお届けする恒例行事。開館10周年の記念事業としてスタートしました。11回目の今年は、全123プログラム、延べ約111,000人のお客様に参加いただきました。

エッセイコンテスト結果発表

「私と東京国際フォーラム」をテーマに募集し、116作品ご応募いただきました。

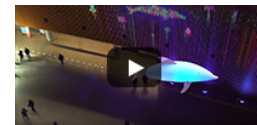
[結果・概要はこちら](#)

12月



開館20周年記念写真展「新たな船出」

東京国際フォーラムの「過去・現在・未来」をテーマに20周年記念写真展を開催。「未来」のブースでは、来館者を中心とする約2,000名の写真からなるフォトモザイクを設置、漫画家の松本零士氏が本展のために描いた未来の東京の姿を元絵に、東京国際フォーラムの「新たな船出」を表現しました。



開館20周年記念イベント「光のアクアリウム」

6mの巨大イルカが約60mの吹き抜けの大空間を浮遊。東京国際フォーラムのガラス棟を巨大な水槽に見立て幻想的に演出し、開館20周年のフィナーレを飾りました。

場所：ガラス棟地下1階ロビーギャラリー

期間：2017年12月8日（金）～26日（火）写真展「新たな船出」

2017年12月19日（火）～26日（火）「光のアクアリウム」

東京国際フォーラム開館20周年 キャッチフレーズとマークについて

東京国際フォーラムで働く全スタッフを対象に募集したキャッチフレーズ。235の応募作品の中から「感謝を力に、感動を形に。」に決定いたしました。
「20年間の感謝の念を原動力として、さらなる感動を形にすることで応えていく」という私たちの思いをメッセージに込めました。



感謝を力に、感動を形に。

東京国際フォーラムで働く全スタッフを対象に募集したキャッチフレーズ。235の応募作品の中から「感謝を力に、感動を形に。」に決定いたしました。

「20年間の感謝の念を原動力として、さらなる感動を形にすることで応えていく」という私たちの思いをメッセージに込めました。